

【様式 2】

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】(中学校用)

都道府県名	富山県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	富山市立芝園中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	1	10	20
生徒数	90	94	92	1	277	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力」の向上をめざす指導方法と指導体制の工夫

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科 (2) 年次ごとの計画

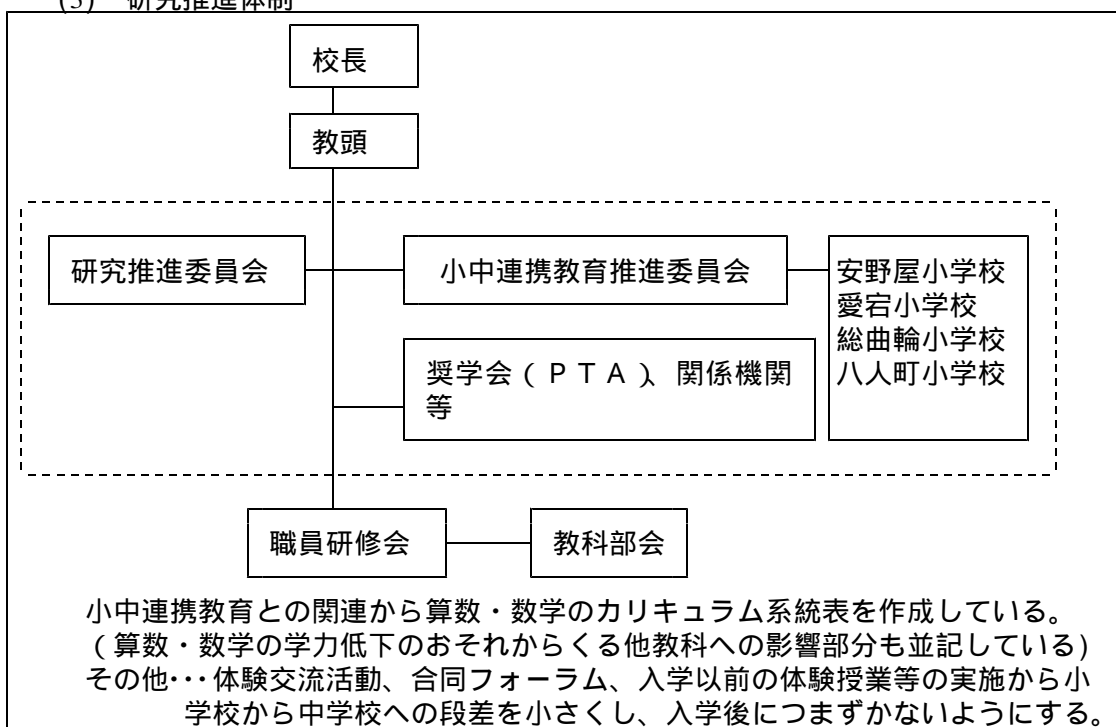
<p>2年・1年の数学</p> <p>まず、「知」の定着については、繰り返しの学習などの反復練習やドリル学習といった方法で、その定着した学力が生徒自身にも一番わかりやすいこととしてあげられる。</p> <p>次に、土台となる基礎(結果)が、生徒達にとって興味・関心へとつながりやすいことがあげられる。指導と評価(自己評価)が一体となりやすいと言える。</p> <p>3年の教科内(数学)選択</p> <p>ゆとりの中で主体的な学習活動が展開できる。興味・関心や知的好奇心をもって意欲的に取り組んでいけるように、生徒のペースに合わせ十分に時間をかけることができる。</p>

平成15年度	<p>テーマ</p> <p>高い基礎学力の定着への指導方法</p> <p>研究の見通し</p> <p>見える学力と見えない学力を整理・分類して、土台となる見えない学力の強化を図ることで、確実に高い基礎学力が定着する。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書活動 <ul style="list-style-type: none"> 読解力をつける・・・豊かな言語環境で論理的・抽象的・概念的思考の向上 ・数学の基礎基本力をつける <ul style="list-style-type: none"> 計算力をつける・・・集中力の向上と思考速度を早める(選択教科で習熟度別学習、ドリル学習) ・指導と評価の一体化 <ul style="list-style-type: none"> 必修教科のシラバスを作成・試行(15年度は1年と2年の3学期用) ・小中連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> 小中連携教育を推進することで、算数・数学のカリキュラム系統表を作成し指導にあたって留意する事柄の焦点化を図る。 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> 長期休業中の補充学習、漢字検定の導入
--------	--

平成 16 年 度	<p>テーマ</p> <p>高い基礎学力の向上と指導体制 研究の見通し 見えない学力の強化を図ることで、見える学力の向上を図る 研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの改善と年間用の作成 ・数値的な目標設定と追跡調査（中教研学力検査、目標規準準拠調査、各種検査など） ・総合的な学習の時間や選択教科の弾力的運行
--------------------	--

* 平成15年度からの新規校については、平成15、16年度の計画について記入すること。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

4月当初、数学が苦手な女子生徒が目立っていた。まず数学を好きになり、少しでも自信をつけさせるためにT・Tの形を基本に、学習内容によって課題別少人数指導を取り入れるなど、スモールステップの目標を設け、小テストを繰り返すことから始め基礎基本の定着を図った。

1学期、式の計算や連立方程式などの学習で1年次より高得点がとれたことから大きな自信につながった生徒が見られた。2学期からは授業形態にも慣れ、どんどん質問する生徒が目立ってきた。

2. 今後の課題

授業の取り組みに対しては良い傾向が見えてきたが、家庭学習の習慣が定着していないためか、数値的な向上が大きく見られない。今後は家庭学習に向けた取り組みを取り入れたいと考えている。

【様式 2】

学力把握のための学校としての取組

個人アンケート（関心・意欲）、中教研学力検査、観点別絶対評価問題、目標基準準拠検査（CRT）、各中間・期末考査、小テスト、図書館の本の貸し出し数等の調査をする。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

2年間の研究成果発表会予定

- 1 日時 11月中旬
- 2 場所 本校（芝園中学校）
- 3 対象 県内小中学校
- 4 目的 学力向上の取り組みの成果、研究発表会
- 5 成果普及 研究実践の推進・公開授業などをHPで公開予定、1学期中に研究会案内のパンフレット作成と配布予定、研究会後の実践評価の公開
- 6 フロンティアティーチャーとしての研究成果普及等の活動実績または予定
現在は未定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | |
|----------------------|---|---|---|---|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | <input type="checkbox"/> 3学級以下
<input type="checkbox"/> 7～9学級
<input type="checkbox"/> 13～15学級 | <input checked="" type="checkbox"/> 4～6学級
<input checked="" type="checkbox"/> 10～12学級
<input type="checkbox"/> 16学級以上 | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導
<input type="checkbox"/> その他 | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導 | | |
| 【研究教科】 | <input checked="" type="checkbox"/> 国語
<input type="checkbox"/> 外国語
<input type="checkbox"/> 保健体育 | <input type="checkbox"/> 社会
<input type="checkbox"/> 音楽
<input type="checkbox"/> その他 | <input checked="" type="checkbox"/> 数学
<input type="checkbox"/> 美術 | <input type="checkbox"/> 理科
<input type="checkbox"/> 技術・家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 | |